

皆さん、政党って必要でしょうか？選ばれた議員が各人の見識で法律を提案、あるいは、賛否を投じ、多数決の結果を受け入れる、という事ではだめなのでしょうか？大きな基本政策は政党ごとで、例えば自民党は自由主義、共産党は共産主義のように、ある程度共通認識を持つことは可能だと思いますが、個別の案件、例えば、TPP 賛成反対、消費税上げる下げる、といった様な事項は、同一政党内でも各議員で意見が異なるはずです。同一政党でなんらかの党議拘束があり、みんなある意見に歩調を合わせる、というのは無理があると思います。民主主義の原則にのっとり、喧々諤々の議論を行い多数決に従う、ということで何か問題があるのでしょうか？政党政治は、国民に選択をしやすくさせる、決定のプロセスがスムーズになる、という利点があります。しかし、これだけマスコミ、インターネットが普及した現在では、各議員個人の考えを知らしめようと思えば、150 年前よりもはるかに容易だと思います。私は「県っていないんじゃないの？」と前に書きましたが、同じように「政党っていないんじゃないの？」と思うのです。おかしいことでも一部の長老の意見で決まる、野党も政策論争よりも与党を政権から引きずり下ろすことに主なエネルギーを使うという現在の政党政治は、今となっては、非効率的な弊害の方が多いような気がする。自分の確たる意見を持っている議員を国民がしっかり選び、各議員が独立した思考で考え、その結果自ら信じることを述べる、それこそ真の民主主義だと思うのです。その為には、今後述べようと思いますが、現在の握手と名前の連呼が主である選挙運動も含め、今の選挙制度等の議員選択の方法も変える必要があると思っています。